

明石藩関連資料調査・展示事業について

1 展示業務

2020年(令和2年)9月12日(土)～10月18日(日)

明石市立文化博物館1階特別展示室で開催

タイトル「明石藩の世界Ⅷ 一米と酒づくり」

2 展示構成と主な展示物

プロローグ 明石藩士がみた藩領の村々:領地目録(当館所蔵旧明石藩主松平家文書)

第1章 明石の山野と米づくり:林崎掘割水路図(明石掘割土地改良区所蔵)

第2章 明石の酒造家:通い徳利(当館所蔵旧明石藩士黒田家所蔵)

第3章 江井島の地方文化:貼交屏風(当館所蔵)

3 関連事業

①講演会 10月3日(土) 13:30～15:30

加藤明恵「江戸時代における明石の酒造業と経営」

加納亜由子「明石藩士がみた藩領の村々と米・年貢」

②はじめての古文書講座 9月27日(日) 10:30～12:00

③展示解説 9月20日(日)、10月4日(日)両日とも 11:00～、14:00～

④シンポジウム「明石城を探る」 9月22日(火・祝) 13:30～16:30

藤田裕嗣「歴史地理学の観点から見た播磨・明石城下町の特徴」

大国正美「絵図でよみがえる城と城下町」

コーディネーター 宮本博

4 期間中観覧者数

1,712名

5 主なアンケート結果

手紙・所蔵の実物が丁寧に解説されて並べられ、藩の中心の武士や承認の交流がわかり、興味深い

明石の米と酒の歴史、関係がよくわかってよかった

江戸時代の人々の生きざまが見えておもしろかった

道具に興味があるため、銚子や盃、徳利の展示はうれしかった

